平成29年第6回 松山市教育委員会定例会

(家串事務局次長)

ご起立願います。

一同礼。

(一同)

よろしく願います。

(家串事務局次長)

ご着席ください。

(教育長)

ただいまから平成29年第6回松山市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配布の日程表のとおりであります。

まず、本日の会議録署名人に一色委員を指名いたします。

ここでお知らせいたします。

本日の教育委員会定例会には、1人の傍聴を許可しておりますので、ご報告を申し上げます。

あわせて、カメラ等の撮影も許可しておりますので、申し上げます。

傍聴人に申し上げます。

教育委員会の傍聴にあたっては、議案・報告等案件に対して賛成あるいは反対の意見表示をしたり、会議の妨害となる行為をすることは禁じられております。

規則等に基づき非公開の議決があった時には、一時的に退席をしていただきます。

また、規則等に違反する場合は、退席を命ずることがありますので、申し上げます。

それでは早速、議事に移ります。

日程第1 議案第14号「社会教育委員の委嘱について」を議題といたします。

渡部地域学習振興課長から説明を求めます。

(渡部課長)

失礼いたします。

地域学習振興課でございます。

よろしく願います。

それでは、お手元の資料1ページをお開きください。

議案第14号「社会教育委員の委嘱について」ご

説明させていただきます。

社会教育委員は、社会教育法第15条の規定により、本市に社会教育委員を置くことができ、同条第2項の規定により、その委員は教育委員会が委嘱することとなっております。

今回、松山市社会教育委員のうち、松山市中学校長会、松山市立小学校長会、松山市民生児童委員協議会の役員改選が行われたことに伴い、後任者を委嘱したいと考えております。

議案書2ページに、委嘱をおこなう委員として、「就任者氏名等」に記載しております。

まず、松山市中学校長会の新たな会長に就任された東中学校の平井有年校長、次に、松山市立小学校長会で新たに会長に就任された、新玉小学校の小坂真也校長、最後に、松山市民生児童委員協議会から新たな会長に就任された、高岡順子会長でございます。

なお、任期については、前任者の任期が終了する平成29年11月14日を継続して委員を委嘱したいと考えておりますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

以上で説明を終わります。

(教育長)

はい。以上で説明は終わりました。

この件に関して、何かご意見等はありませんでしょうか。

(一同)

なし

(教育長)

ご意見もないようですから採決をいたします。

それでは、議案第14号「社会教育委員の委嘱について」を原案どおり決定することについてご異議ございませんか。

(一同)

異議なし

(教育長)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第14号は原案どおり決定をいたしました。

次に、日程第2 議案第15号「松山市教育支援

委員会委員の委嘱について」を議題といたします。

大本学校教育課長から説明を求めます。

(大本課長)

はい、失礼します。

資料の5ページをお願いいたします。

日程第2 議案第15号「松山市教育支援委員会委員の委嘱について」ご説明いたします。

教育支援委員会は、教育委員会の諮問に応じて教育支援を必要とする幼児、児童、生徒について、医学、心理学、教育等の見地から調査、審議し、教育支援に必要な助言を行うことを実務とし、現在17名の委員で構成されています。

議案内容の1点目は、現在17名の委員の内、5名の委員が平成29年5月末に任期満了になることに伴い、新たに5名の委員に委嘱を行うものです。

新たな委員5名中、松友委員、一色委員、森本委員の3名は、再任になります。

残りの2名について、新たに、愛媛大学教育学部附属特別支援学校副校長の渡邊恵理先生、松山市特別支援教育主任会顧問校長である松山市立河野小学校長の大田隆弘先生に委嘱をします。

任期は、5名とも2年間とします。

2点目は、委員の増員に伴う委嘱についてです。

近年、教育相談の件数が増加し、教育支援委員会の審議の運営に人的、時間的な負担が大きくなってきています。

その負担の軽減と、より慎重な審議運営の維持のために、審議を行う分科会を増やすことを目的として、元附属特別支援学校校長や特別支援教育主任会顧問校長等の経験者である池谷三和子元校長先生に委員の委嘱を行い、1名の増員を図るものです。

3点目は、委員の辞任に伴う、補欠委員の委嘱についてです。

樋口まゆみ委員から、一身上の都合による任期途中での辞任の申し出を受けましたので、平成29年5月31日付で辞任を承認するとともに、その補欠委員として、長年、特別支援学級担任や教育相談調査員等、特別支援教育に深くかかわってこられた河野弘美元教諭に、新たに委員の委嘱を行います。

以上で説明を終わります。

ご審議の程よろしくをお願いいたします。

(教育長)

以上で説明は終わりました。

この件に関し、何かご意見等はございませんでしょうか。

(豊田委員)

はい、質問。

(教育長)

豊田委員。

(豊田委員)

細かいことなのですが、委嘱期間の始まる日が、再任の方は3名とも同じなのですが、新任の4名の方がそれぞれ違うのはどうしてですか。

(大本課長)

この教育支援委員会委員の委嘱の期間につきましては、前任者との切れ目がない形で就任をお願いしておりますので、今までの経緯の中で空きができないような期間の引き継ぎをしている状況によるものでございます。

(豊田委員)

渡邊副校長さん、大田校長さんが5月29日、5月27日ですかね。

前任者の退任がその前日ということなのですかね。

(大本課長)

7ページにあります、第4条第2項の委員の任期は、2年とする、ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする等で、期間がつながってきたところによるものであります。

(豊田委員)

では、最初の方が何らかの理由で、そういうふうになってきているのですかね。

(大本課長)

はい。

(教育長)
よろしいですか。

(豊田委員)
はい。

(教育長)
他にございませんか。

(一同)
なし。

(教育長)
他に意見もないようですから採決をいたします。

議案第15号「松山市教育支援委員会委員の委嘱について」を原案どおり決定することにご異議ございませんか。

(一同)
異議なし

(教育長)
ご異議なしと認めます。

よって、議案第15号は原案どおり決定をいたしました。

次に、日程第3 議案第16号「松山市立子規記念博物館協議会委員の委嘱について」を議題といたします。

加地子規記念博物館所長から説明を求めます。

(加地所長)
文化財課 子規記念博物館でございます。

資料8ページをお願いいたします。

議案第16号「松山市立子規記念博物館協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。

当博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、博物館法で規定されています。

また、協議会の設置、委員の定数及び任期等協議会の必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めるものとしており、松山市立子規記念博物館条例第16条2項の規定により、協議会の委員は、委員会が任命するとなっていま

す。

当協議会委員の任期が、平成29年6月30日をもって任期満了となりますので、資料9ページに提案しております松山市立子規記念博物館協議会委員を新たに委嘱するもので、任期は、平成29年7月1日から平成31年6月30日までであります。

資料10ページに現行委員名簿をつけておりますが、今回委員の人数を10名から8名に致したいと考えています。

これは、前回任期10年で退任予定でございました、愛媛大学の清水史氏と松山市男女共同参画推進センター館長鎌田サチ子氏に、生誕150年記念事業準備のため、1期2年間のみ再任をお願いし、10人体制で行ってききましたが、生誕150年記念事業の準備期間も終えたことから、以前の8人体制に戻したいと考えます。

なお、資料9ページ空白の部分につきましては、現協議会委員としてご協力いただいております、松山俳句協会会長に、お願いしたいと考えており、来月6月の松山俳句協会総会で会長改選もありますことから、会長が決まりましたら、次回定例会の中で報告させていただきたいと思っております。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(教育長)
はい。以上で説明は終わりました。

この件に関し、何かご意見等はございませんでしょうか。

(一同)
なし

(教育長)
では意見もないようですので採決をいたします。

議案第16号「松山市立子規記念博物館協議会委員の委嘱について」を原案どおり決定することについてご異議ございませんか。

(一同)
異議なし

(教育長)
ご異議なしと認めます。

よって、議案第16号は原案どおり決定をいたしました。

次に、日程第4 報告第8号「公民館運営審議会委員の委嘱について」を議題といたします。

渡部地域学習振興課長から説明を求めます。

(渡部課長)

地域学習振興課でございます。

よろしくお願いいたします。

議案書・報告書・説明事項の12ページをお願いいたします。

報告第8号「公民館運営審議会委員の委嘱について」ご説明させていただきます。

各公民館の事業計画や管理運営等を審議する公民館運営審議会委員は、教育委員会が委嘱することとなっております、3月31日で委員の任期2年が満了となったため、その後任者を教育長の専決により委嘱したもので、松山市教育委員会事務委任規則第2条第2項に基づき、報告するものでございます。

今回、委嘱した委員は、次の13ページから28ページに名簿をつけておりますが、総勢484名で、報告書の取りまとめなどを進めていたため、今回の報告となったものでございます。

なお、任期は平成29年4月1日から平成31年3月31日までの2年間となっております。

以上で説明を終わります。

よろしくお願いいたします。

(教育長)

はい。以上で説明は終わりました。

この件に関し、何かご意見等はございませんでしょうか。

名簿の運営審議会委員が多くございますので。

(一同)

なし

(教育長)

それでは、報告第8号「公民館運営審議会委員の委嘱について」ご異議ございませんか。

(一同)

異議なし

(教育長)

はい。ご異議なしと認めます。

次に、日程第5 報告第9号「松山市教科用図書採択要綱の一部改正について」を議題といたします。

大本学校教育課長から説明を求めます。

(大本課長)

はい。学校教育課です。

よろしくお願いいたします。

日程第5 報告第9号「松山市教科用図書採択要綱の一部改正について」ご報告いたします。

資料の30ページをお願いいたします。

今回の要綱の一部改正は、これまで、教科用図書の意見を聴く場を「教科書採択委員会」としておりましたが、この「教科書採択委員会」は、採択の場ではなく、教科書採択に関する意見を聴く場であることから、より適切な名称へ変更するため「教科書採択に関する懇話会」と名称を改めたことによるものです。

なお、4月の定例会でもご説明いたしましたように、今年度は小学校教科書「特別の教科 道徳」の採択年度となっていることから、松山市教育委員会事務委任規則第2条第2項に基づき処理いたしましたので、今回ご報告させていただくものです。

以上です。

よろしくお願いいたします。

(教育長)

はい、この件に関し、何かご意見等はございませんでしょうか。

豊田委員。

(豊田委員)

質問です。

勉強不足なので、松山市のいろんな意見を聴く会があるのだと思うのですが、今日の例えば、社会教育委員会というのがありますよね。

それから支援委員会、協議会がありますよね。

懇話会という会があるのですか。

なぜこういうことを聞くかということ、多くは協議会とか審議会とかいう名称をつけておるんだと思うんですね。

そういうところの話し合いや意見を聴いて決定

します、というふうな趣旨であるんだと思うんです。

懇話会というのがあまり一般的ではないので、もしかして松山市にそういう組織があるのですかと聞いただけで、別に変更することに異議を唱えるつもりではないです。

(津田事務局長)

名称に関しての話だと思うんですけれども、教育委員会では第3次まつやま教育プラン21を策定した時に、懇話会方式で委員さんのご意見を聴くという場を設けています。

協議会とか審議会等いろいろあるのですけれども、審議会条例とかいろいろ条例案件にかかるところも入ってきます。

例えば、審議会は市長の諮問、教育長の諮問機関であることがあります。教科書を採択するにあたって、委員の意見を聴くということが趣旨となっていることから、懇話会という名称にさせていただくものです。

以上でございます。

(一色委員)

これは今までの教科書採択委員会自体が私はおかしいだろうと思うんですけれどもね。

採択権はあくまでも教育委員会にあるわけですから。

だから、一般の方は今までの教科書採択委員会という名前に惑わされてですね、どこに決定権者があるのか分からないと、誤解を与えるので、私は今の懇話会の方が良い、より適切だと思います。

(豊田委員)

はい、名称を変えることに異議をはさむつもりはありません。

採択委員会という名称になったのは、昭和41年に県が教科書採択委員会規則という規則を作って、県下に、例として示したんですよ。

それを参考にして採択委員会規則となってそれがずっと通ってきているんだと思うんです。

それを趣旨に基づいて変えようということについては何ら問題ない。

ただ、諮問しますよね。

(大本課長)

学校教育課です。

今回委員さんがおっしゃられたように、採択委員会という名称を使った経緯については、先ほどおっしゃられたような形で例示として示されているものの中からそれを活用していたことがあります。

それからなお、この会の位置づけですが、構成の委員の方にいろいろなご意見を伺いする場としての位置づけで、一つの方向性の意見にまとめるというものではなく、様々な立場から様々なご意見をいただいて、それを担当課の方で記録を取り、それを教育委員さん方にお示しをして、それらの意見を参考にさせていただくというふうな、そういった様々な意見を聴く場という位置づけで会をもっております。

以上です。

(教育長)

教科書採択委員会というのは、ここにこれが決定権がないので不適切という、委員さんは認識なので、懇話会というのが適切なことかという、それは間違いないですか。事務局の方は。

それで豊田委員がおっしゃられているのは、懇話会とって、この趣旨からいって、趣旨に沿うんでしょうか、それはどうなんでしょうか。

(大本課長)

先ほどおっしゃられたとおり、諮問、答申等を行わない組織ですので、いわゆる審議会ではなく、趣旨には合ったものと考えております。

(教育長)

はい。

豊田委員、どうでしょう。

(豊田委員)

私も携わってきたもので、諮問という言い方はしませんけれども、判断基準を、示して、資料作成委員会が検討しますよね。

それに基づいて、それが県からの、審議会の意見書なども合わせて、これまではそれが妥当ではないかというふうなことで、教育委員会に報告してくださっていたと思うんです。

ただ、採決するわけではないので、採択委員会

という名称がおかしいのなら変えようという趣旨は何ら問題ないと思うんですが、ただ、それまでの流れが全く同じなのに名称を変えるだけなんです、というのはちょっと違うのかなという気がします。

何か反対しているようであまり言いたくはないんですが、そういうことでは決していないですよ。

懇話という言葉が、自分の思いを正直にその場で言えばいい、というイメージをどうしても持ってしまう。

でも教科書というのは、これだけいろんな機会にいろんな人から意見を聴こうとしているのは、偏りがないように適正なものをいかにして選ぶかということで、二重、三重の発破をかけながらしていますよね。

だからそれをこの会は、自由に意見を言うただけなんです、自由な意見を聴くだけなんです、というふうな印象を与えるような名称かなという気がしたので、例えば、審議とか協議とかいうふうになっていたら、ある程度1つの目的をもって、そのためにはこうじゃないかという意見を出していくというふうなしばりがあると思うんですが。

懇話というと、もっと自由にオープンになってしまうのかなと。

それで他にはあるのでしょうかと質問しただけのことなんです。

(大本課長)

教科書の採択の決定につきましては、教育委員会で審議し、決定いたすということになっております。

豊田委員がおっしゃられたように、調査部会での調査研究資料、そして閲覧をいただいた方のご意見等もすべて提供する。

そして、この懇話会では1つの方向性にとらわれず、様々な立場の方に入っていただき、より広くいろいろなお考えをお聴かせいただき、そして最終的にこの教育委員会で採択を決定していただくという趣旨の中で、この会の位置づけは懇話という形が望ましいだろうという判断をもとに名称変更をいたしたところです。

(教育長)

よろしいですか。

(豊田委員)

はい。

(教育長)

それでは報告第9号「松山市教科用図書採択要綱の一部改正について」ご異議ございませんか。

(一同)

異議なし

(教育長)

はい。ご異議なしと認めます。

次に、日程第6 報告第10号「平成29年度学校医の委嘱について」を議題といたします。

三谷保健体育課長から説明を求めます。

(三谷課長)

失礼します。

保健体育課でございます。

平成29年度学校医の委嘱についてご報告をいたします。

資料34ページをお願いいたします。

学校医につきましては、学校保健安全法の規定に基づき、市教委が委嘱し、各市立小中学校にそれぞれ配置をしておりますが、今般、内科の学校医1名の辞職があり、それに伴い後任を教育長の処理により委嘱しましたので、松山市教育委員会事務委任規則の規定に基づき、本日、ご報告するものでございます。

委嘱の概要を申し上げます。

久米中学校の学校医でありました、浅野宏国氏が去る4月17日付けで辞職したため、その後任として、翌4月18日付けで、浅野光一氏を委嘱したものであり、同氏の委嘱の期間は、前任者の残任期間である4月18日から来年3月31日までとなっております。

なお、浅野宏国氏の辞職は体調不良によるものでございます。

以上で説明を終わります。

よろしくお願いいたします。

(教育長)

はい、以上で説明は終わりました。

この件に関し、何かご意見等はございませんでしょうか。

(一同)
なし

(教育長)

よろしいでしょうか。

それでは、報告第10号「平成29年度学校医の委嘱について」ご異議ございませんか。

(一同)
異議なし

(教育長)

ご異議なしと認めます。

次に、日程第7 報告第11号「松山市青少年育成支援委員の委嘱について」を議題といたします。

沖広教育支援センター事務所長から説明を求めます。

(沖広事務所長)

教育支援センター事務所でございます。

松山市青少年育成支援委員の委嘱についてご報告いたします。

資料の37ページをお願いいたします。

報告第11号「松山市青少年育成支援委員の委嘱について」ですけれども、松山市教育支援センター条例第3条第4号及び同施行規則第4条の規定により、次の者を松山市青少年育成支援委員に委嘱しましたので、松山市教育委員会事務委任規則第2条第2項に基づきご報告いたします。

今回は、校区支援委員で欠員になっていた校区及び転勤等の理由で異動された方の補充として5名、4月1日の人事異動後に確定した小・中・高校の生徒指導主事からなる支援委員で小学校は55名、中学校は30名、高校・中等教育学校は95名の方々を4月1日付で委嘱いたしましたので、ご報告いたします。

今回委嘱された方を含む支援委員は、合計481名で、任期は平成31年3月末日までです。

以上です。

よろしくをお願いいたします。

(教育長)

はい、以上で説明は終わりました。

この件に関し、何かご意見等はございませんでしょうか。

(一同)

なし

(教育長)

よろしいでしょうか。

それでは、報告第11号「松山市青少年育成支援委員の委嘱について」ご異議ございませんか。

(一同)

異議なし

(教育長)

ご異議なしと認めます。

次に、日程第8 説明事項「松山市教科用図書採択に関する運営要領の一部改正について」を議題といたします。

大本学校教育課長から説明を求めます。

(大本課長)

失礼します。

学校教育課です。

日程第8 説明事項「松山市教科用図書採択に関する運営要領の一部改正について」ご説明いたします。

資料の54ページをお願いいたします。

先ほど報告第9号でもご説明させていただきましたが、これまでの要綱では、教科用図書の意見を聞く場を「教科書採択委員会」としておりましたが、より適切な名称とするため、「教科書採択に関する懇話会」と名称を改めました。

この要綱第4条の変更に伴い、要領項目番号3の「教科書採択委員会」を「教科書採択に関する懇話会」に改めました。

以上です。

よろしくをお願いいたします。

(教育長)

はい。

以上で説明は終わりましたが、この件に関し、何かご意見等はございませんでしょうか。

(一同)

なし

(教育長)

よろしいでしょうか。

それでは本日の予定の日程は以上となりますが、何か委員の方々からご意見やご質問などがございましたらお願いをいたします。

(一同)

なし。

(教育長)

ございませんか。

それでは以上をもちまして、本日予定の日程はすべて終了いたしました。

これにて、平成29年第6回定例会を閉会をいたします。

どうもありがとうございました。

(家串事務局次長)

ご起立願います。

一同礼。

(一同)

ありがとうございました。